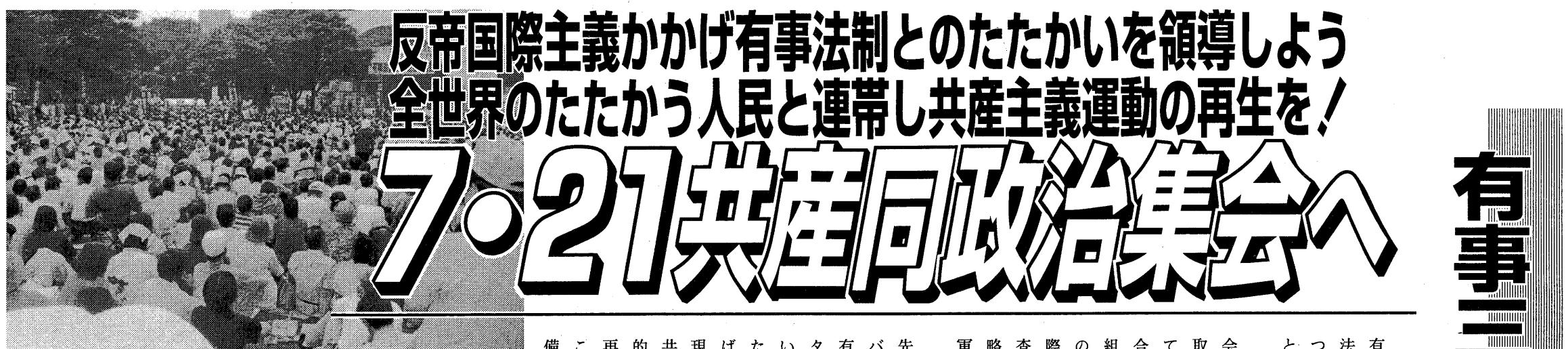


国際帝国主義の侵略反革命・第三世界支配を粉碎し、全世界の帝国主義を打倒せよ！世界プロレタリア革命—世界プロレタリア独裁—共産主義を実現する新しいインターナショナル（世界単一党）を国際階級闘争の最前線に創建せよ！

	7・21共産同政治集会へ P2~4 6月アジア共同行動 集会報告 P5~6	2002年 7月1日 第564号 編集発行人 海路 薫 一部 300円		共産主義者同盟（全国委員会） ■ 大阪戦旗社 大阪市北区本庄西2-8-19 明豊ビル401号 大労協内 TEL(06)6371-3706 ○郵便振替 00930-0-63333 ○銀行口座 第一勧銀 551-1058150
--	---	---	--	--



有事法制に反対し 6万人が結集（6月16日・東京）

有事法制・改憲攻撃を許すな！
全世界のたたかう人民と連帯し
共産主義運動の再生をめざす
共産同政治集会へ！

日 時

7月21日(日)

午後1時～4時30分

会 場

京大会館・210号室

参 加 費

1000円

われわれ共産主義者同盟（全国委員会）は、このようないたかいを最先頭でたたかいつつ、七月二一日に共産同政治集会を開催する。グローバリゼーションのもとで、ますます過酷な犠牲が労働者人民に強制され、有事三法案の上程という戦後史を画する事態が進行するなかで、プロレタリアートの共産主義前衛党の建設はますます重大な課題となってきた。有事法制に反対するいたかいを自国帝国主義＝日帝の打倒に向けた闘争へと発展させ、反帝國際共同闘争としっかりと結合させていかねばならない。そして、現社会の根本的な変革＝社会主義・共産主義の実現に向けたいたかいと結合させていかねばならない。われわれは、この共産同政治集会において、有事法制に反対するいたかいを領導する先進的労働者人民の任務を提起し、また共産主義を人民の解放の希望として再建していくための任務を提起していく。われわれはすべての皆さんに、この共産同政治集会への結集を呼びかけるとともに、秋のいたかいの準備を開始していきたい。ともにたたかわん！

有事二法案を廃案へ

全国のいたかう労働者人民の皆さん／日帝・小泉政権は、全国各地の有事法制に反対するいたかいに追いつめられて、今通常国会での有事三法案の成立を断念した。しかし、小泉政権は民主党の取り込みをはかりつつ、秋の臨時国会において何としても有事三法案の成立を強行しようとしている。このような策動を絶対に粉碎していかねばならない。

この六月には、有事法制に反対する六万人が結集した六・一六全国集会が開催され、また各地において有事法制に反対する広範な共同行動が取り組まれた。このような全人民政治闘争を秋に向けてさらに発展させていかねばならない。そして、この全人民政治闘争を国際反戦運動と結合させ、反帝國際主義へと領導していく。六月下旬に全国各地で取り組まれたアジア共同行動集会は、そのための大きな条件をつくりだすものであった。また、この七月下旬には、米比合同軍事演習に反対する国際調査団が予定されている。アジア共同行動日本連からも、この国際調査団に代表団を派遣する。緊迫する東アジア情勢のもとで、日米帝の侵略反革命戦争策動と対決し、アジア人民の反帝國際共同闘争をもって米軍と米軍基地をアジアから総撤収させよう。

二一世紀は、米中枢を襲った九・一事件とそれを引き金にした米帝を中心とするアフガニスタン侵略戦争の発動とともに幕を開けた。それは全世界の労働者人民に大きな衝撃を与えるとともに、新たな激動の時代のはじまりを告げるものとなつた。今日、米帝・ブッシュ政権は、「テロとの戦い」のスローガンをかけ、侵略戦争・軍事介入を世界各地で拡大している。また、これと結びついて、イスラエルによるパレスチナ再占領戦争を筆頭にして、帝国主義と結託した反人民的政権によって、被抑圧人民の解放闘争を虐殺しようとする攻撃が強められている。他方、このような事態に対して、世界各地で反戦運動の新たなるが広がり、その国際的な共同闘争がつくりだされてきた。また、資本のグローバリゼーションがもたらす災禍に対する労働者人民の闘争も国際的な規模で持続・発展している。

激動する国際情勢のなかで、われわれは現代社会の根底的な変革に迫るたたかいこそを組織していかなくてはならない。この一〇年間に加速度的に進行した独占資本・多国籍企業の世界展開は、同時に資本主義の矛盾を世界的な規模で顕在化させてきた。グローバリゼーションの嵐が世界を席巻するなかで、貧富の格差は世界的な規模で拡大しつづけ、絶対的貧困に苦しむ人々の数はこれまで以上に増加している。一握りの独占資本が巨万の富を握りしめている一方で、一日一ドル以下の生活を強いられている人々は、世界人口の五分の一近く、約三億人にのぼる。さらに、飢餓状態に置かれている人々

全国のたたかう労働者・学生のみなさん／われわれ共産主義者同盟（全国委員会）は、きたる七月二一日にわが同盟が開催する「有事法制・改憲攻撃を許さず！全世界のたたかう人民と連帯し、共産主義運動の再生をめざす・共産同政治集会」へのみなさんの参加を中心から訴える。プロレタリア国際主義の旗のもと、帝国主義の侵略・支配と真っ向から対決し、労働者階級とすべての被抑圧人民の解放に向けて共産主義運動の歴史的再生を切り開いていくために共にたたかおう。

現代社会の根底からの変革を

七・二一 共産同政治集会に決走しよう

の数は八億人に達している。このような状況のなかで、米国をはじめとする帝国主義諸国は、過剰資本の投資や貿易の拡大をめぐって世界的大競争を繰り広げ、IMF（世界通貨基金）やWTO（世界貿易機関）などの国際機関を武器として、各国に対して自由化・民営化・規制緩和を軸とした新自由主義政策を押しつけている。それは、大量失業や権利はく奪、社会保障・社会福祉の切り捨てを全世界において進行させ、とりわけ第三世界においては労働者人民の生活を破滅の淵にまで追いやっている。金融機マネーが一国の経済を翻弄し、一夜のうちに国家財政を破綻寸前にまで追いつめ、さらにそれが他国にまで波及していくという事態をわれわれは九〇年代後半のアジア経済危機とその連鎖のなかに目撃してきた。九・一事件もまた、このようにして蓄積された貧困とそれを押しつける帝国主義の支配のなかで生み出されてきたものに他ならない。

情報技術産業をはじめとした科学技術の進歩、あるいは、歴史上なかつたほどの生産力の巨大な発展にもかかわらず、それが資本のもとでの進歩や発展であるがゆえに、それが世界の圧倒的多数の人々の生活を改善するどころか、むしろ貧富の格差を一層増幅し、絶対的貧困を拡大させている。国際環境問題が深刻な問題として喧伝されているにもかかわらず、多国籍企業は環境規制の抜け道を探すこと忙しい。利潤の追求とその絶え間ない拡大を至上命題とする資本主義のもとでは、このような事態は決して解

決されることがない。むしろ今日のグローバリゼーションと新自由主義政策の進行のもとで、世界的な規模での貧困と不平等はさらに極限にまで拡大していくしかざるをえない。資本主義的発展がもはや世界の圧倒的多数の人々の生存と相容れず、そしてまたそれを自ら解決することができないという事態のなかに、資本主義がすでに歴史的な意味で命脈が尽きていることが端的に示されている。

グローバリゼーションのなかで深まる搾取と抑圧に対して、労働者人民の抵抗が世界各地で広がってきた。WTO閣僚会議をいったん破綻に追い込んだ九九年のシアトルでのたたかいや昨年のイタリア・ジェノバでの反サミット闘争の高揚はその端的な現れであった。それはまた、グローバリゼーションによって労働者人民が受けている攻撃の同質性・同時性を背景にして、労働者人民の国際的な共同闘争を新たに前進させるものであった。今日、こうした国際的な反グローバリゼーション運動の進展のなかで、「利潤よりも人間を」「もうひとつの世界は可能だ」というスローガンが掲げられている。それは資本主義という経済・社会システムに対する鋭い告発であり、むきだしの「資本の論理」が貫徹する現代社会に代わる新たな社会への希求である。

資本主義の矛盾の国際的な深まりとグローバリゼーションに抗する労働者人民のたたかいは、帝国主義の世界支配をその根底から搖るがしてゐる。しかし、不可避に高まる労働者人民の反抗と闘争から独占資本の利害を防衛するために、帝国主義はそれを最終的には暴力的支配をもつてねじ伏せていく以外にどのような手段ももない。そうした帝国主義の残酷な本性は、昨秋以来のアフガニスタン侵略戦争の過程での民衆虐殺によって今一度明らかなものとなつた。九・一事件を契機にして開始された米帝による「対テロ戦争」は自己の権益と支配秩序に反逆するあらゆる勢力を「テロリスト」と規定し、むきだしの軍事的手段によって揺らぎはじめた帝国主義の世界支配秩序を再編成していくこうとするものに他ならない。アフガニスタンのタリ

パン政権を転覆した米帝は、いまやフィリピンをはじめとして世界各地に「対テロ戦争」の戦線を広げている。さらに、イラク・イラン・朝鮮民主主義人民共和国を「悪の枢軸」と規定し、とりわけイラクに対しては来年初頭にも大規模な軍事侵攻に踏み出そうとしている。

いまやむきだしの戦争発動によってしか自らの支配秩序を維持できない帝国主義の残虐な姿と資本主義の歴史的な行きづまりが、より鮮明に追いやられてきた。この危機を突破するため

グローバリゼーションの進展と米帝による「対テロ戦争」の拡大のなかで、国際帝国主義の一翼を占める日本帝国主義もまた、これに対応した支配体制の再編をおし進めていこうとしている。今年度の通常国会において、侵略戦争出動とそのための国家総動員体制の確立を狙う有事法制関連三法案、メディアの国家統制と治安管理体制の強化に他ならない個人情報保護法案、郵政事業の民営化に道を開く郵政関連法案、そして医療保健の個人負担増を要求する健康保険法改定案が「重要四法案」として並んで上程されたことは、今日の日本帝国主義が進んでいくこうとする方向を端的に示している。

現在、国際的な資本間競争の激化のもとで、労働者に対する強搾取・強収奪の攻撃が強まり、「構造改革」のかけ声のもと、NTTの一・二万人リストラ攻撃に端的に示されるよう、大リストラ首切り攻撃が多く労働者を襲っている。中小企業を中心とした企業倒産が増大し、失業率は5%を越えたままである。あわせてますます拡大する非正規雇用、労働法制の改悪、そして医療制度改悪をはじめとした社会保障の切り捨てなど、労働者に対して犠牲が集中している。「一億総中流」と言われた時代は完全に過去のものとなり、資本主義社会においては労働者は資本という鎖につながれた賃金奴隸であり、資本が必要とする間だけ生きながらえることができないということが、ますます多くの労働者にとって明らかになりつつある。

このようななかで、小泉政権はいよいよ「戦争国家体制」の確立に向けた攻撃に本格的に踏み出した。アフガニスタン侵略戦争に自衛隊を参戦させた日帝・小泉政権は、さらにはいま有事法制関連法案の成立を急ぎ、朝鮮半島をはじめとした東アジアにおいて米帝とともに本格的な侵略戦争を発動し、そのもとに労働者人民を強制的に総動員していく体制をつくりだそうとしている。それは日本の帝国主義としての生き残りをかけた攻撃である。グローバリゼーションのもとでますます激しくなる米帝やEU帝との帝国主義間抗争において、このかん日帝は劣勢に追いやられてきた。この危機を突破するため

「グローバリゼーションの進展と米帝による「対テロ戦争」の拡大のなかで、国際帝国主義の一翼を占める日本帝国主義もまた、これに対応した支配体制の再編をおし進めていこうとしている。今年度の通常国会において、侵略戦争出動とそのための国家総動員体制の確立を狙う有事法制関連三法案、メディアの国家統制と治安管理体制の強化に他ならない個人情報保護法案、郵政事業の民営化に道を開く郵政関連法案、そして医療保健の個人負担増を要求する健康保険法改定案が「重要四法案」として並んで上程されたことは、今日の日本帝国主義が進んでいくこうとする方向を端的に示している。

現在、国際的な資本間競争の激化のもとで、労働者に対する強搾取・強収奪の攻撃が強まり、「構造改革」のかけ声のもと、NTTの一・二万人リストラ攻撃に端的に示されるよう、大リストラ首切り攻撃が多く労働者を襲っている。中小企業を中心とした企業倒産が増大し、失業率は5%を越えたままである。あわせてますます拡大する非正規雇用、労働法制の改悪、そして医療制度改悪をはじめとした社会保障の切り捨てなど、労働者に対して犠牲が集中している。「一億総中流」と言われた時代は完全に過去のものとなり、資本主義社会においては労働者は資本という鎖につながれた賃金奴隸であり、資本が必要とする間だけ生きながらえることができないということが、ますます多くの労働者にとって明らかになりつつある。

第一に、有事法制・改憲攻撃に反対する全人民政治闘争をさらに发展させるとともに、崩壊した階級闘争を發展させていくために、われわれ共産主義者同盟は、この夏から秋にかけて、すべての労働者・学生が次の任務を共にになっていくことを訴える。

第一に、有事法制・改憲攻撃に反対する全人民政治闘争をさらに发展させるとともに、崩壊した階級闘争を發展させていくために、われわれ共産主義者同盟は、この夏から秋にかけて、すべての労働者・学生が次の任務を共にになっていくことを訴える。

いま有事法制との攻防のなかで、戦争動員をして日本帝国主義の打倒に向けてわが国における階級闘争を發展させていくために、われわれ共産主義者同盟は、この夏から秋にかけて、すべての労働者・学生が次の任務を共にになっていくことを訴える。

日帝打倒に向けたたたかいで

パン政権を転覆した米帝は、いまやフィリピンをはじめとして世界各地に「対テロ戦争」の戦線を広げている。さらに、イラク・イラン・朝鮮民主主義人民共和国を「悪の枢軸」と規定し、とりわけイラクに対しては来年初頭にも大規模な軍事侵攻に踏み出そうとしている。

いまやむきだしの戦争発動によってしか自らの支配秩序を維持できない帝国主義の残虐な姿と資本主義の歴史的な行きづまりが、より鮮明に追いやられてきた。この危機を突破するため

に、日本の多国籍資本は新自由主義的「構造改革」を通してすさまじい犠牲を労働者人民に集中するとともに、アジアを中心にして海外に存在する経済権益を自らの軍事力をもって防衛でいる。国際秩序といふことになると、米国は海外進出企業が地域紛争に巻き込まれても空母を派遣すれば安泰かもしない。しかし、日本の場合は個別企業が天に祈るしかない」という牛尾治郎・前経済同友会代表幹事の発言は、有事法制の確立を要求する日帝ブルジョアジーの意図を端的に示している。このかん相次いで問題となつた「非核三原則」見直し発言や防衛庁による情報公開請求者への違法な個人リストの作成問題も、決して一個人による偶發的な事件ではなく、日帝が戦争のできる帝国主義への再編を急ぎ、それに対する抵抗をおしつぶして

せていこうではないか。

いま有事法制との攻防のなかで、戦争動員を強いられようとする運輸・航空・港湾などの労働組合をはじめとする労働者の決起が全国各地をつらぬいてはじまっている。そのような労働者の立ち上がりを基礎としながら、さる六月一六日には東京・代々木公園において、政党やナショナルセンターの違いをこえて六万人が結集した有事法制反対の全国集会が開催され、いくつかの地方でも同様の行動が取り組まれている。侵略戦争とそのための総動員体制の確立という日帝の野望を打ち砕いていくために、われわれは生み出されてきた全人民政治闘争と労働者階級の政治決起をさらに大胆におし広げていかなくてはならない。

なかたちをとつてわれわれの前に現れている。行きつまる現代資本主義社会をその根底から変革していくこと、そのため世界を支配する帝国主義を打倒するたたかいの陣形を国内外にわたくつくりあげていくことが求められている。

そしてまた、そのような全世界の労働者人民のたたかいの一翼として、日本帝国主義の打倒に向けたたたかいが準備されていかねばならない。

に、日本の多国籍資本は新自由主義的「構造改革」を通してすさまじい犠牲を労働者人民に集中するとともに、アジアを中心にして海外に存在する経済権益を自らの軍事力をもって防衛でいる。国際秩序といふことになると、米国は海外進出企業が地域紛争に巻き込まれても空母を派遣すれば安泰かもしない。しかし、日本の場合は個別企業が天に祈るしかない」という牛尾治郎・前経済同友会代表幹事の発言は、有事法制の確立を要求する日帝ブルジョアジーの意図を端的に示している。このかん相次いで問題となつた「非核三原則」見直し発言や防衛庁による情報公開請求者への違法な個人リストの作成問題も、決して一個人による偶發的な事件ではなく、日帝が戦争のできる帝国主義への再編を急ぎ、それに対する抵抗をおしつぶして

せていこうではないか。

いま有事法制との攻防のなかで、戦争動員をして日本帝国主義の打倒に向けてわが国における階級闘争を發展させていくために、われわれ共産主義者同盟は、この夏から秋にかけて、すべての労働者・学生が次の任務を共にになっていくことを訴える。

いま有事法制との攻防のなかで、戦争動員をして日本帝国主義の打倒に向けてわが国における階級闘争を發展させていくために、われわれ共産主義者同盟は、この夏から秋にかけて、すべての労働者・学生が次の任務を共にになっていくことを訴える。

労働者人民を侵略戦争へと総動員していこうしていることを基礎して発生した問題に他ならない。

有事法制・改憲攻撃を軸とした戦争国家体制づくりと「構造改革」のかけ声のもとで強行される新自由主義的政策は、これまでの国内支配体制を支配階級の側から再編していこうとするものに他ならない。一握りの巨大独占資本が生き残るために、労働者人民が犠牲を強いられておりだされていかねばならない。さらにまた、有事法制反対運動のなかで掲げられてきたように「戦争の被害者にも加害者にもならない」ということを真に実現していこうとするならば、そして資本の都合のために労働者人民の生活や権利が踏みにじられるという状態を根本から解決していくこうとするならば、日本の労働者人民もまた日本帝国主義の打倒という道に進んでいくしかない。いかに議会制民主主義という衣をまとおうとも、現在の国家権力は資本家階級による支配のための暴力装置である。そして多国籍資本とその利害を代表する権力による支配がつづく限り、労働者人民の生存権が踏みにじられ、他の労働者人民を虐殺する侵略戦争に動員されてしまう。労働者人民の生存権が踏みにじられ、他国の労働者人民を虐殺する侵略戦争と生活破壊に抗するたたかいをこれまで以上に前進させるとともに、日本帝国主義を労働者人民の力によって打倒する準備を要求しているのだ。

共産主義運動の再生切り開け

烽火

月刊

1部 300円
(通常号)労働者人民の闘いの
進路を示す政治新聞

取り扱い書店

- 東京／明治大学生協（東京都千代田区） 模索舎（同・新宿区） ● 愛知／名古屋ウータ（名古屋市千種区）
- 大阪／大阪ウータ（大阪市天王寺区） 三鈴書林（同・北区） 関西大学 生協（大阪府吹田市） ● 兵庫／神戸 大学生協（神戸市灘区）

烽火の定期購読を
おねがいします

■郵送（密封）1年分 3,000円
2年分 5,000円

お申し込みは大阪戦旗社まで

■郵便振替
00930-0-63333
■銀行口座

第一勧銀 551-1058150

後の時代の階級闘争を規定した社共一総評を軸とした階級闘争の構造が崩壊して以来、これに代わる階級闘争の基礎構造はまだ建設の途上にある。そして、そのことが他の帝国主義本邦の階級闘争の高揚に比しても日本における階級闘争の立ち遅れを招いている。有事法制・改憲攻撃を軸に支配体制の再編に向けた攻撃が本格的にかけられている今こそ、日帝・資本との対決を鮮明にした新たな階級闘争構造の全国的建設という歴史的課題に挑戦していくではないか。

第二に、国際的な反戦・反グローバリゼーション闘争に連帯し、全人民政治闘争の国際主義的発展をかちとり、これをアジアにおける反帝統一戦線の建設と結合していくことである。

米帝を中心としたアフガニスタン侵略戦争の発動は、国際的な反戦運動の新たなうねりをうみだしてきた。米帝による「対テロ戦争」は、すでに東アジアにも波及している。フィリピンではイスラム武装勢力・アブサヤフの掃討を名目に、米比合同軍事演習「バリカタン-02-01」が開始され、それを口実にして米軍はフィリピンへの再駐留を狙っている。また米帝は、朝鮮民主主義人民共和国を「悪の枢軸」と規定して朝鮮半島と東アジアにおける軍事的緊張を高めている。小泉政権による有事法制攻撃は、このような情況のなかで、東アジアにおける本格的な戦争発動を米帝とともに準備していくばかりで、日米帝国主義による侵略戦争に反対し、新ガイドライン安保とアジアからの米軍の総撤収を実現する反帝国際共同闘争を組織していくことがますます重要になってきている。そしてまた、そのような国際反戦闘争と結合することを通して、現下の攻防となっている有事法制反対運動の国際主義的な発展をかちとり、これが、深まる侵略戦争策動のなかで日帝の排外主義爆動と国益宣伝を打ち破って、たたかいを勝利に導いていくためにも必要である。

また、グローバリゼーションのもとで深まる帝国主義間抗争のなかで、日帝は自らを中心とした東アジア経済構造をASEAN諸国の反人民的支配層を巻き込んで進めつつ、日韓はじめとして二国間自由貿易協定の締結策動を本

格化させている。そのなかで進む日系多国籍資本による強掠取や労働組合弾圧とたたかうアジアの労働者人民のたたかいへの支援・連帯を組織していくことは、わが国の労働運動の階級的発展のための不可欠の課題である。

侵略戦争策動とグローバリゼーションをめぐって激動する東アジア情勢は、日米帝国主義の侵略・支配に反対する実践的な反帝国際共同闘争を前進させ、それを牽引するアジア人民の反帝統一戦線を強固に建設すること、それと日本階級闘争を結合させていくことを要求している。

そのためにも、各国・地域の労働運動・民衆運動に根を張ったアジアにおける反帝統一戦線として、韓国、フィリピン、台湾、インドネシア、日本の民衆組織によってつくられてきたAWC（日米のアジア侵略・支配に反対するアジア・キャンペーン）、および、アジア共同行動日本連のたたかいはますます重要なものになっています。

プロレタリア国際主義をわが国階級闘争の全体的な質としていく努力なしに、勝利の展望はない。国際的な反戦・反グローバリゼーション運動と連帯し、AWCを中心とした反帝国際共同闘争の前進をかちとろう。

第三に、現実の労働者人民のたたかいを日本帝国主義の打倒・プロレタリア社会主義革命に向けて組織する労働者階級の革命的前衛党の建設の事業をおし進めることである。このためにわれわれ共産同（全国委員会）は、全国のたたかう労働者・学生にわが同盟に結集し、ともに労働者階級とすべての被抑圧人民の解放に向けて共産主義運動の歴史的な再生を共に切り開いていくことを訴える。

日本共産党はいまや資本主義の打倒ではなく、その目標を「よりましな資本主義」「独占資本の民主的規制」にさだめ、規約改定において自らを「国民政党」と規定し、労働者階級の前衛党としての性格を完全に失ってしまっている。

共産党は有事法制との闘争の実践においてもたたかいを「平和憲法の擁護」「対米従属反対」の枠組みに封じ込め、結局のところ労働者人民の立ち上がりを資本主義の改良の枠内に押し込めるようとしている。さらに、昨秋のテロ対策特別措置法と一緒に可決された海上保安庁法改悪案に賛成投票し、その「愛国政党」ぶりを満天

下にさらけだした。侵略戦争策動が煮つまつていかなかで、日本共産党が指導部を先頭にして社会排外主義へと転落を深めていくことは不可避免である。われわれは、労働者人民をかれらの階級の利害を真に代表する前衛党を建設しなければならない。

資本主義が支配する現代社会を根本的に変革していくためには、労働者人民の階級闘争の力を握り、それを牽引するアジア人民の反帝統一戦線を強固に建設すること、それと日本階級闘争を結合させていくことを要求している。

そのためにも、各國・地域の労働運動・民衆運動に根を張ったアジアにおける反帝統一戦線として、韓国、フィリピン、台湾、インドネシア、日本の民衆組織によってつくられてきたAWC（日米のアジア侵略・支配に反対するアジア・キャンペーン）、および、アジア共同行動日本連のたたかいはますます重要なものになっています。

プロレタリア国際主義をわが国階級闘争の全体的な質としていく努力なしに、勝利の展望はない。国際的な反戦・反グローバリゼーション運動と連帯し、AWCを中心とした反帝国際共同闘争の前進をかちとろう。

第三に、現実の労働者人民のたたかいを日本帝国主義の打倒・プロレタリア社会主義革命に向けて組織する労働者階級の革命的前衛党の建設の事業をおし進めることである。このためにわれわれ共産同（全国委員会）は、全国のたたかう労働者・学生にわが同盟に結集し、ともに労働者階級とすべての被抑圧人民の解放に向けて共産主義運動の歴史的な再生を共に切り開いていくことを訴える。

日本共産党はいまや資本主義の打倒ではなく、その目標を「よりましな資本主義」「独占資本の民主的規制」にさだめ、規約改定において自らを「国民政党」と規定し、労働者階級の前衛党としての性格を完全に失ってしまっている。

共産党は有事法制との闘争の実践においてもたたかいを「平和憲法の擁護」「対米従属反対」の枠組みに封じ込め、結局のところ労働者人民の立ち上がりを資本主義の改良の枠内に押し込めるようとしている。さらに、昨秋のテロ対策特別措置法と一緒に可決された海上保安庁法改悪案に賛成投票し、その「愛国政党」ぶりを満天

下にさらけだした。侵略戦争策動が煮つまつていかなかで、日本共産党が指導部を先頭にして社会排外主義へと転落を深めていくことは不可避免である。われわれは、労働者人民をかれらの階級の利害を真に代表する前衛党を建設しなければならない。

資本主義が支配する現代社会を根本的に変革していくためには、労働者人民の階級闘争の力を握り、それを牽引するアジア人民の反帝統一戦線を強固に建設すること、それと日本階級闘争を結合させていくことを要求している。

そのためにも、各國・地域の労働運動・民衆運動に根を張ったアジアにおける反帝統一戦線として、韓国、フィリピン、台湾、インドネシア、日本の民衆組織によってつくられてきたAWC（日米のアジア侵略・支配に反対するアジア・キャンペーン）、および、アジア共同行動日本連のたたかいはますます重要なものになっています。

プロレタリア国際主義をわが国階級闘争の全体的な質としていく努力なしに、勝利の展望はない。国際的な反戦・反グローバリゼーション運動と連帯し、AWCを中心とした反帝国際共同闘争の前進をかちとろう。

第三に、現実の労働者人民のたたかいを日本帝国主義の打倒・プロレタリア社会主義革命に向けて組織する労働者階級の革命的前衛党の建設の事業をおし進めることである。このためにわれわれ共産同（全国委員会）は、全国のたたかう労働者・学生にわが同盟に結集し、ともに労働者階級とすべての被抑圧人民の解放に向けて共産主義運動の歴史的な再生を共に切り開いていくことを訴える。

日本共産党はいまや資本主義の打倒ではなく、その目標を「よりましな資本主義」「独占資本の民主的規制」にさだめ、規約改定において自らを「国民政党」と規定し、労働者階級の前衛党としての性格を完全に失てしまっている。

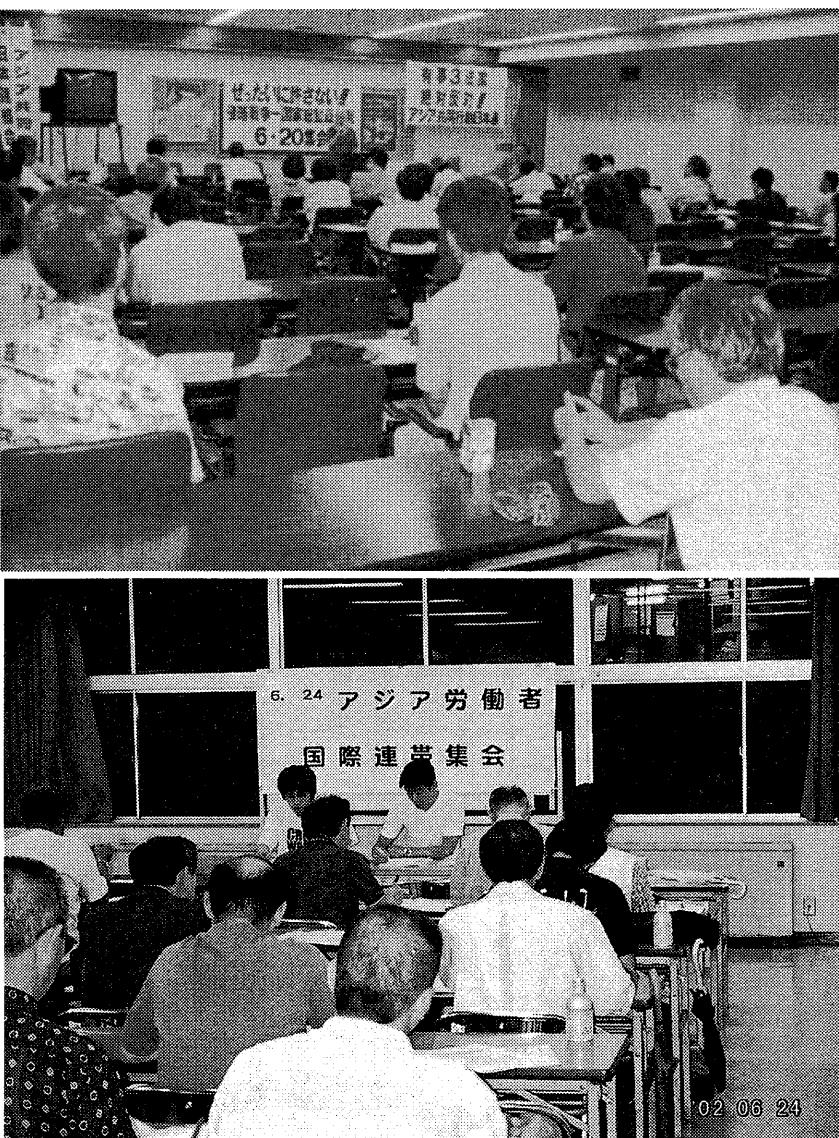
●6月アジア共同行動集会報告

韓国から代表を迎えて 有事法制反対を確認

6・20 東京

提起した。

六月二〇日、アジア共同行動・首都圏は、午後三時から防衛庁への抗議行動を来日中の韓国の仲間とともに进行了。有事法制を率先して進め、現在も自衛隊をインド洋やゴラン高原、東チモールに派兵し、戦争国家への大転換を画策する中心的な省庁としてある防衛省に参加者の怒りがぶつけられた。とくに、情報公開請求者への個人情報を防衛庁が調査・監視するという、本質的には軍隊による労働者・市民への監視と弾圧であり、軍による思想統制の先取り的実施に関して徹底的に弾劾の声をあげていった。斎藤一雄共同代表、韓国の仲間、事務局、学生などが相次いで抗議のアピールを繰り返し、抗議申し入れ書を提出した。



上／6月20日・東京 下／6月24日・愛知

夜には、渋谷勤労福祉会館で約六〇名の結集で、「ぜったいに許さない、侵略戦争・国家総動員体制／六・二〇集会」が行なわれた。開会のあいさつには中岡全国一般全国協議会委員長が立った。中岡さんは、有事法制の確立に向けた歴史的な攻撃のもとで、生活をまもる、戦争をさせない、資本主義と自民党政権を打倒していくために、反戦反グローバリゼーションのたたかいをすすめようと言った。つぎに有事法制に反対する基調講演を元衆院議員の斎藤一雄共同代表が行なった。斎藤代表は、現在の有事三法案の廃案や周辺事態法の廃止など個々の法律をめぐつてたかうだけでなく、全体の本質である侵略戦争と国家総動員体制を打ち砕くことが求められていることを

海外からのアピールとして、フィリピン・BAYANからメッセージを受けた。その後、韓国民主労総の代表から発電労組のたたかいのビデオが上映された。民主労総の代表は、この集会への警察権力の監視を指摘し、独裁や独占資本家のやることはどこも同じであること、新自由主義グローバリゼーションの攻撃で民主的権利を剥奪し、搾取を強化し、民衆への監視を強化していることを弾劾した。また、韓国ではパート・アルバイトなどの非正規雇用が全労働者の五〇%を越えるなかで、発電労組のたたかいが行なわれ、国家的富が外国に売られることと全面的にたかってきたりを報告した。そして、民主労総の代表は、日米帝国主義の侵略戦争の拡大に徹底的な警鐘を乱打した。国際資本が武力で労働

者の生存権を奪っていくこと、これのがブッシュの霸権主義の本質であると。小泉も武力で出て行くことをねらい、全世界的に武力行使を行うことをもくろんでいる。ブッシュは核戦争の準備さえ行い、日本も核武装を準備している。このような運転手のいない暴走列車をとめるのは、労働者の国際連帯だけだ。朝鮮半島へアメリカが戦争をしかけ、日本が参戦して前線基地となる情勢が煮つまっている。平和をまもるたたかいが重要となっている。自分の流した汗が報われる社会にむけて、侵略戦争を許さないアジア・世界の民衆とともに連帯し、民主労総はたたかうことを訴えたいと表明した。

続いて発言に立った民主労総の金属産業連盟の代表は、全労協の東京総行動に参加して、どうしてこんなに状況が似ているのかと思いつつ、

五年や二〇年などの長期にわたる労働争議の報告を聞いた。大宇自動車が外国企業に売却されたが、販売関連の労組はGMへの売却に反対して六ヶ月間のストライキをたたかい抜いた。正規雇用をパートにするなど攻撃が増えている。これに対しても労働条件と生存権をかちとるたかくをすすめ、これを反米闘争へと結合・発展させることが重要になつているとアピールした。

韓国ゲストの熱烈なアピールをうけ、集会ではさらにパレスチナ連帯行動に参加した青年学生運動をすめる活動家からの報告を受けた。つづいて、集会に寄せられた連帯アピールが紹介された。労働運動を代表した全国一般全国協からのメッセージでは、警戒感をゆるめずに有事三法案の廃案を実現するたたかいをすめることができかけられ、全国協でも有事法制反対のパンフレットを配付し、六月には全国の職場・地域での一斉行動や六万人集会への参加をすすめたことが報告された。

沖縄一坪反戦地主会関東ブロックは、五月一二日に豊島公会堂でおこなれた取り組みの成功を報告し、これへの参加と協力についての感謝を述べた。そして、「復帰三〇年」の局面で、小泉政権が有事法制・戦争策動を推進しており、国会状況の総保守化のもとで今後一層きびしい闘争が予測されるなか、たたかいで大強化を訴えた。最後に日韓民衆連

帶全国ネットワークから、きたる六月二二日の日韓の市民・民衆による反戦平和世界同時行動デーの取り組みが提起された。

集会の締めくくりとして、司会から

動日本連による署名運動を推進すること、七月末にはフィリピンにおけるアメリカの『対テロ戦争』の拡大について国際調査団が行なわれるのと、今年の秋には有事法制反対闘争を全面展開しながら、アフガニスタン・戦争の戦争責任・戦争犯罪を告発し、「対テロ戦争」の拡大に反対する国際シンポジウムを開催すること。そして韓国民主労総の要請に応え、緊急の行動として六月一七日に民主労総のタンビヨンホ委員長など韓国労働運動指導者の逮捕・拘束に抗議し、即時釈放をもとめる韓国大使館抗議行動を行うことが呼びかけられた。最後に斎藤代表の音頭によつて、団結がんばろうを行い、戦争と生活破壊に反対する決意を集会参加者全體で確認した。

六月二十四日、名古屋の中小企業セ
ンターにおいて、「アジア労働者国
際連帯集会」がアジア共同行動愛知
実行委員会の主催でおこなわれた。
愛知では毎年二回、アジア共同行
動日本連と連携しながら、アジアの
仲間を受け入れての反グローバリゼ
ーション、反戦・平和の国際連帯集
会を継続してきた。今回の集会は、
九・一事件を契機としたアメリカ
の全世界での戦争策動、有事三法案
の国会上程という緊迫した事態のな
かで、韓国から民主労総に加盟する
最大産別である金属連盟の代表を迎
えての開催となつた。

集会は司会の挨拶、基調報告の提起のあと、五月に沖縄での平和行進に参加した自立労連の労働者が、「沖縄の民衆は有事法制にたいし、本土とはくらべものにならない強い危機感をもっている。第二次大戦における地上戦の経験、巨大な米軍基地の存在とそこからの海兵隊の出動

6.24
愛知

集会では、有事三法案がアジアにおける日米の権益確保にむけた軍事支配体制の強化、とりわけ朝鮮民主主義人民共和国にたいする侵略戦争に備えたものであることが鮮明にされた。さらに有事法制の確立は、米軍を先頭としたフィリピン、インドネシアなどの民衆運動鎮圧にむけた戦争策動と連動した攻撃であること、したがって東アジア規模での労働者・民衆の国際的に連携、共同したたたかいが決定的に重要なことが提起された。アジア共同行動委員会のたたかいをはじめ、愛知でのアジアの労働者・民衆と連帯・共同した戦争反対、雇用破壊、生活破壊反対のたたかいの前進が求められている。

江夏さんは、四月末から五月初めにかけてKMUのISAに参加した経験に触れつつ、この軍事演習が実際には軍事作戦そのものであり、米軍がこれを機会にフィリピンに再駐屯をもくろんでいることを厳しく批判した。そして、この軍事演習の当面の焦点は「アブサヤフ」の掃討に置かれているが、それはやがてフィリピンの民族民主勢力などあらゆる反政府勢力のたたかいに向けられていこと。フィリピンの民衆がこれに反対してたたかい、七月下旬には国際調査団が予定されていることを報告した。

これに続いて、韓国の民主労総の代表が「朝鮮半島の統一」に敵対する「日米の戦争準備」というテーマで報告を行った。この報告では、有事注

こと、そして有事法制に反対するたかいを現在の社会の根本的な変革の展望と結びつけていくことが重要だと提起した。

集会の最後に、「米比合同軍事演習反対・フィリピン派遣団に参加しよう」「五月沖縄現地闘争に参加して」「日韓労働運動の連帯を!」月第三次訪韓団に参加しよう」というテーマで、三人の活動家がアピールを行った。とりわけ、七月下旬のフィリピンの国際調査団に参加する二人の青年の発言は、とつとつとであれ印象深いものであった。集会のエンディングとして、有事三法案の廃案に向けてシユブレヒコールを行い、ウイシャルオーバーカムを合唱して集会を終了した。

また、この集会に先立つ六月二二

6・25 京都

6.
25
京都

江夏さんは、四月末から五月初めにかけてKMUのISAに参加した経験に触れつつ、この軍事演習が実際には軍事作戦そのものであり、米軍がこれを機会にフィリピンに再駐屯をもくろんでいることを厳しく批判した。そして、この軍事演習の当面の焦点は「アブサヤフ」の掃討に置かれているが、それはやがてフィリピンの民族民主勢力などあらゆる反政府勢力のたたかいに向けられいくこと。フィリピンの民衆がこれに反対してたたかい、七月下旬には国際調査団が予定されていることを報告した。

これに続いて、韓国の民主労総の代表が「朝鮮半島の統一」に敵対する「日米の戦争準備」というテーマで報告を行った。この報告では、有事注

こと、そして有事法制に反対するたかいを現在の社会の根本的な変革の展望と結びつけていくことが重要だと提起した。

集会の最後に、「米比合同軍事演習反対・フィリピン派遣団に参加しよう」「五月沖縄現地闘争に参加して」「日韓労働運動の連帯を!」月第三次訪韓団に参加しよう」というテーマで、三人の活動家がアピールを行った。とりわけ、七月下旬のフィリピンの国際調査団に参加する二人の青年の発言は、とつとつとであれ印象深いものであった。集会のエンディングとして、有事三法案の廃案に向けてシユブレヒコールを行い、ウイシャルオーバーカムを合唱して集会を終了した。

また、この集会に先立つ六月二二

争に日本が参戦するためのものであり、二年前の六・一五南北共同宣言にもとづく朝鮮半島の統一に敵対するものであることが厳しく批判された。また民主労総の代表は、一九九四年に朝鮮民主主義人民共和国の「核開発疑惑」を口実として、発動寸前まで至った米軍の五一七七

こと、そして有事法制に反対するた
かしいを現在の社会の根本的な変革
の展望と結びつけていくことが重要
だと提起した。

集会の最後に、「米比合同軍事演
習反対！」フィリピン派遣団に参加し
よう」「五月沖縄現地闘争に参加し
て」「日韓労働運動の連帯を！一
月第三次訪韓団に参加しよう」とい
うテーマで、三人の活動家がアピー
ルを行った。とりわけ、七月下旬の
フィリピンの国際調査団に参加する
二人の青年の発言は、とつとつとで
あれ印象深いものであった。集会の
エンディングとして、有事三法案の
廃案に向けてシュープレヒコールを行
い、ウイシャルオーバーカムを合唱
して集会を終了した。

また、この集会に先立つ六月二二
日夜、韓国民主労総および金属産業
連盟の代表と京都の労働運動の活動
家たちによる「日韓労働運動交流会」
が開催された。この交流会では、韓
国の発電労組のたたかいのビデオが
上映され、非正規雇用労働者の組織
題を中心にそれぞれのたたかいの報
告と意見交換が行われた。

KMUのISAに参加した活動家からいながら、ASEANを中心とする東アジアにおける権益確保のために中国封じ込めを画策し、アブサヤフ掃討を口実にしてフィリピンでの駐留を画策している。それだけではなく、作戦地域では労働組合や大衆団体の活動家にたいする逮捕、暗殺が行われ、民衆運動が弾圧されている。という報告がおこなわれた。

韓国の金属連盟の代表は、「軍国主義復活を加速する有事法制に反対する日本の労働者・民衆と交流できてもうれしい。グローバリゼーションのもとで、労働者の生活破壊と戦争策動が強められている。経済危機を戦争という軍事的手段で突破しようとする策動であり、何の罪もない人を地獄にたき落すことになる。唯一の被爆国として日本の労働者・民衆は戦争反対のたたかいを強力に進めて欲しい」と発言した。その後、質疑応答が集会終了時まで活発にお

生で埋めつくされた。
すでに米帝・ブッシュ政権によく「対テロ」戦争という名の侵略戦争は、東アジアにも波及してきている。このような中で、有事法制が東アジアにおける日米帝の本格的な侵略戦争を準備していくものであることは明らかである。この集会は、有事法制を国家総動員法という側面で批判するだけではなく、緊迫する東アジア情勢のなかでとらえ返し、アジア情勢のなかでとらえ返し、アジア民衆への連帯と国際共同闘争をもつて有事法制と対決していくことをめざすものであった。

集会の最初に主催者あいさつをマジア共同行動・京都の共同代表である鶴田さんが行った後、緊迫する東アジア情勢の報告として、まずAWC国際事務局の江夏五郎さんが「テロ戦争が開始されたフィリピンを訪問して」というテーマで報告を行った。フィリピンでは、今年春から「バリカタン02-01」という名称の米比合同軍事演習が開始されてきた

の撤廃を要求してたたかう洛南合同。労組の富永さんからのアピールが行われ、大きな激励の拍手がおこった。続いて韓青同京都府本部の青年たちが登場し、三人が次々と自らの思いを訴えた。その発言の間には、韓国の反戦反核歌（バンジョン・パネットカ）やイムジン河などの歌をうたい、集会参加者の感動を呼びました。その後、アジア共同行動・京都を代表して事務局長の山本さんは、「アジア民衆に連帯し、有事三法案を廃案へ」というテーマで集会の基調発言が行われた。山本さんはまず、六・一六全国集会や六・一三京都集会のような広範な共同行動を推進していくことを呼びかけた。そして、東アジアにもブッショユ政権の「対テロ」戦争が波及してくるなかで、有事法制反対運動を国際反戦運動と結びつけ、アジア民衆の連帯で日米両国政府による侵略戦争を阻止すること、また有事法制に反対するたたかいを小泉政権の打倒へと発展させていく。

の撤廃を要求してたたかう洛南合同。争
労組の富永さんからのアピールが行
が登場し、三人が次々と自らの思い
を訴えた。その発言の間には、韓国
の反戦反核歌（パンジヨンパネッカ）
やイムジン河などの歌をうたい、集
会参加者の感動を呼びました。そ
の後、アジア共同行動・京都を代表
して事務局長の山本さんから、「ア
ジア民衆に連帯し、有事三法案を廃
案へ」というテーマで集会の基調發
言が行われた。山本さんはまず、六
・一六全国集会や六・一三京都集会
のような広範な共同行動を推進して
いくことを呼びかけた。そして、東
アジアにもブッシュ政権の「対テロ」
戦争が波及していくなかで、有事法
制反対運動を国際反戦運動と結びつ
け、アジア民衆の連帯で日米両国政
府による侵略戦争を阻止すること、
また有事法制に反対するたたかいを
小泉政権の打倒へと発展させていく
こと、そして有事法制に反対するた
たかいを現在の社会の根本的な変革
の展望と結びつけていくことが重要
だと提起した。

集会の最後に、「米比合同軍事演
習反対／フィリピン派遣団に参加し
よう」「五月沖縄現地闘争に参加し
て」「日韓労働運動の連帯を！—
月第二次訪韓団に参加しよう」とい
うテーマで、三人の活動家がアピー
ルを行った。とりわけ、七月下旬の
フィリピンの国際調査団に参加する
二人の青年の発言は、とつとつとで
あれ印象深いものであった。集会の
エンディングとして、有事三法案の
廃案に向けてシユプレヒコールを行
い、ウイシャルオーバーカムを合唱
して集会を終了した。

また、この集会に先立つ六月二二
日夜、韓国民主労総および金属産業
連盟の代表と京都の労働運動の活動
家たちによる「日韓労働運動交流会」
が開催された。この交流会では、韓
国の発電労組のたたかいのビデオが
上映され、非正規雇用労働者の組織
化など、日韓の労働運動の共通の課
題を中心にそれぞれのたたかいの報
告と意見交換が行われた。

6・16 東京

全国から六万人が大結集 有事法制の廃案を要求し

さる六月一六日、東京の代々木公園B地区において、STOP! 有事法制六・一六全国大集会が開催された。陸・海・空・港湾労組二〇団体、平和をつくる宗教者ネット、平和を実現するキリスト者ネットが呼びかけたこの集会には、全国各地から六万人余りが参加した。会場となつた代々木公園B地区は、文字通り参加者で埋めつくされた。これは、五月二十四日に明治公園での集会の四万人を越えるものであり、有事三法案を何としても廃案に追い込もうする熱気が会場にみなぎった。

荒馬座のアクラクションと開会のトランペットで集会は始まった。続いて、開会宣言に立った平和をつくりだす宗教者ネットの石川勇吉さんが、「政府は継続審議の方針を固めたと言っているが、わたしたちの願いは継続審議ではなく廃案」と力強くアピールした。

赤十字病院で働く看護師から「人を殺す戦争の手伝いはしたくない」「戦争を起こさない世の中にいくことが必要」というアピールとともに、「ハイアン募金の訴え」が行われ、続いて各界からのアピールが行わされた。

脚本家の小山内美江子さんは、戦争とそれと結びついたメディア規制法案を批判し、続いて沖縄から駆けつけた「沖縄から基地をなくし、世界の平和を求める市民連絡会」の永春樹さんが、六月八日には沖縄で五五〇〇人が参加した集会が行なったことを報告し、「これ以上、基地被害、侵略戦争を許してはなりません」と訴えた。



アジア民衆に連帯する闘いを！ 6・25東京集会



有事3法案絶対反対！（6月16日・東京）

続いて政党からの発言が行われた。日本共産党の志位委員長、社民党的土井憲子党首、民主党の生方幸夫衆議院議員がそれぞれ有事三法案に反対し、廃案をめざしてたたかっていことを表明した。

さらに、日本弁護士連合会の伊礼

6・13 京都

有事三法案に反対する集会を開催 田中野音に一八〇〇人が結集

六月二三日午後六時三〇分から円山野外音楽堂において、「廃案にしきくことが必要」というアピールとともに、「ハイアン募金の訴え」が行なわれ、続いて各界からのアピールが行なわれた。

赤十字病院で働く看護師から「人を殺す戦争の手伝いはしたくない」

「戦争を起こさない世の中にいくことが必要」というアピールとともに、「ハイアン募金の訴え」が行なわれ、続いて各界からのアピールが行なわれた。

赤十字病院で働く看護師から「人を殺す戦争の手伝いはしたくない」

六月二三日午後六時三〇分から円山野外音楽堂において、「廃案にしきくことが必要」というアピールとともに、「ハイアン募金の訴え」が行なわれ、続いて各界からのアピールが行なわれた。

赤十字病院で働く看護師から「人を殺す戦争の手伝いはしたくない」

勇吉副会長は、今回の有事法案に対して日弁連として一致して反対声明を発表したこと、対策本部を設置して活動してきたことを報告した。労働運動からは、全労連議長の小林洋二さん、そして、全日本海員組合副委員長の片岡和夫さんが登壇し、労働者・労働組合として戦争協力を拒否してたたかう決意を表明した。和光高校生の白木まほさんが、「高校生戦争協力拒否宣言」の活動を紹介し、平和な未来をつくっていくためにも有事法制に反対です、とアピールした。

勇吉副会長は、今回の有事法案に対して日弁連として一致して反対声明を発表したこと、対策本部を設置して活動してきたことを報告した。労働運動からは、全労連議長の小林洋二さん、そして、全日本海員組合副委員長の片岡和夫さんが登壇し、労働者・労働組合として戦争協力を拒否してたたかう決意を表明した。和光高校生の白木まほさんが、「高校生戦争協力拒否宣言」の活動を紹介し、平和な未来をつくっていくためにも有事法制に反対です、とアピールした。

アジア共同行動日本連や反戦闘争実行委員会に参加する仲間たちも、アジア民衆との国際連帯の訴えをはじめとして独自の集会をもちらながら、この集会に合流した。

こうして有事法制と戦争策動に対する広範な労働者・市民の声とたかいの前に、政府与党は今通常国会での法案の成立を断念し、継続審議にせざるをえないところにまで追いつめられた。五・二四集会や六・一六全国集会を通して前進してきた有事法制に反対する全人民政治闘争をさらに推進し、有事三法案を何とも廃案に追い込もう。そのため、職場・地域・学園での活動をさらに活発に推進し、一人でも多くの仲間を有事法制反対に立ち上がりさせていく。さらにまた、こうしたたかいとアジア・世界の反戦運動を結合し、反戦運動の国際連帯を発展させていく。

てデモンストレーションに出発した。

アジア共同行動日本連や反戦闘争実行委員会に参加する仲間たちも、アジア民衆との国際連帯の訴えをはじめとして独自の集会をもちらながら、この集会に合流した。

こうして有事法制と戦争策動に対する広範な労働者・市民の声とたかいの前に、政府与党は今通常国会での法案の成立を断念し、継続審議にせざるをえないところにまで追いつめられた。五・二四集会や六・一六全国集会を通して前進してきた有事法制に反対する全人民政治闘争をさらに推進し、有事三法案を何とも廃案に追い込もう。そのため、職場・地域・学園での活動をさらに活発に推進し、一人でも多くの仲間を有事法制反対に立ち上がりさせていく。さらにまた、こうしたたかいとアジア・世界の反戦運動を結合し、反戦運動の国際連帯を発展させていく。

てデモンストレーションに出発した。

アジア共同行動日本連や反戦闘争実行委員会に参加する仲間たちも、アジア民衆との国際連帯の訴えをはじめとして独自の集会をもちらながら、この集会に合流した。

こうして有事法制と戦争策動に対する広範な労働者・市民の声とたかいの前に、政府与党は今通常国会での法案の成立を断念し、継続審議にせざるをえないところにまで追いつめられた。五・二四集会や六・一六全国集会を通して前進してきた有事法制に反対する全人民政治闘争をさらに推進し、有事三法案を何とも廃案に追い込もう。そのため、職場・地域・学園での活動をさらに活発に推進し、一人でも多くの仲間を有事法制反対に立ち上がりさせていく。さらにまた、こうしたたかいとアジア・世界の反戦運動を結合し、反戦運動の国際連帯を発展させていく。



2800人が結集した京都集会（6月13日・京都）



米領事館前での抗議行動（6月22日・大阪）

向日市議会での有事三法案に反対する決議を推進した飛鳥井佳子さん（向日市市会議員）、京都市議会での有事法制推進決議に抗議する市役所前座り込み行動を行った里中悦子さん（戦争いや京都の市民たち）、劇団京芸代表の藤沢薰さん、指定公団体の労働組合を代表して倉橋明広さん（京都マスコミ文化情報労組会議幹事）が発言を行った。

続いて集会に寄せられたメッセージが紹介された。国内からは、京都弁護士会会長の田畠佑晃さん、清水寺貫主の森清範さん、小西誠さんほか

その後、集会に参加したさまざまな人々からの発言が行われた。宗教者を代表して宮城泰年さん（聖護院門跡執事長／本山修驗宗宗務総長）、向日市議会での有事三法案に反対す

るCAの黒木順子さんが担当し、まず実行委員会代表の小泉潤さん（ルーテル教会牧師）が開会のあいさつをおこなった。小泉さんは、「憲法というとりでが崩されようとしている。法案を廃止させ、国民を戦争へ駆り立てるようとする流れをくいとめよう」と訴えた。

続いて、社会民主党京都府連合副代表の西田輝雄さん、新社会党京都府本部委員長の森山康弘さん、参議院議員で日本共産党京都府委員会の井上哲士さんが来賓あいさつを行った。また、民主党の京都選出の参議院議員の福山哲郎さんからのメッセージが紹介された。

その後、集会に参加したさまざまな人々からの発言が行われた。宗教者を代表して宮城泰年さん（聖護院門跡執事長／本山修驗宗宗務総長）、

向日市議会での有事三法案に反対す

6・22 大阪

米領事館への抗議行動を貫徹 日韓共同行動でたたかい抜く

六月二二日午後二時から、アジア共同日本連の呼びかけで、大阪のアメリカ領事館と自民党大阪府本部に対する抗議行動が行われた。

この行動は、韓国の広範な民衆団体によって構成された「六月民衆抗争継承・反戦平和大会委員会」と日本「六・二二反戦平和世界行動デー実行委員会」による世界同時行動の一実行委員会によるものである。

日韓の実行委は、「ワールドカップ共催を機にした未来指向の日韓関係を」といった両政府の欺まん的姿勢

を指弾しながら、「世界平和を破壊する米国の大統領の戦争政策と『対テロ』戦争反対」「日本の有事法制と争継承・反戦平和大会委員会」と日本「六・二二反戦平和世界行動デー実行委員会」による世界同時行動の呼びかけに呼応したものである。

この日のアメリカ領事館および自民党大阪府本部に対する抗議行動には、一連のアジア共同行動各地集会に参加するため来日した韓国民主

会議幹事）が発言を行った。

続いて集会に寄せられたメッセージが紹介された。国内からは、京都弁護士会会長の田畠佑晃さん、清水寺貫主の森清範さん、小西誠さんほか

（向日市市会議員）、京都市議会での有事法制推進決議に抗議する市役所前座り込み行動を行った里中悦子さん（戦争いや京都の市民たち）、劇団京芸代表の藤沢薰さん、指定公団体の労働組合を代表して倉橋明広さん（京都マスコミ文化情報労組会議幹事）が発言を行った。

向日市議会での有事三法案に反対す

るCAの黒木順子さんが担当し、まず実行委員会代表の小泉潤さん（ルーテル教会牧師）が開会のあいさつをおこなった。小泉さんは、「憲法というとりでが崩されようとしている。法案を廃止させ、国民を戦争へ駆り立てるようとする流れをくいとめよう」と訴えた。

その後、集会に参加したさまざま

な人々からの発言が行われた。宗教

者を代表して宮城泰年さん（聖護院

門跡執事長／本山修驗宗宗務総長）、

向日市議会での有事三法案に反対す

るCAの黒木順子さんが担当し、まず実行委員会代表の小泉潤さん（ルーテル教会牧師）が開会のあいさつをおこなった。小泉さんは、「憲法と

いうとりでが崩されようとしている。法案を廃止させ、国民を戦争へ駆り立てるようとする流れをくいとめよう」と訴えた。

その後、集会に参加したさまざま

な人々からの発言が行われた。宗教

者を代表して宮城泰年さん（聖護院